

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |            |
|---------|----------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0990400046     |            |            |
| 法人名     | ウエルエージング株式会社   |            |            |
| 事業所名    | グループホームあおぞら    |            |            |
| 所在地     | 栃木県佐野市吉水町991-1 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成29年11月15日    | 評価結果市町村受理日 | 平成30年1月30日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報公表システムで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/09/index.php</a> |
|----------|---|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                  |  |  |
|-------|------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 |  |  |
| 所在地   | 栃木県宇都宮市若草1-10-6  |  |  |
| 訪問調査日 | 平成29年12月8日       |  |  |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、佐野市の中心部より北へ約5キロ、道の駅どまんなかためまの北方に位置している。田畑に囲まれ落ち着いた環境の住宅地に立地している。ホーム主催の納涼祭や避難訓練などは、地域の方に参加していただき地域との交流を積極的に行っている。年間の行事を計画し、外出、誕生会など入居者様に楽しんで頂けるよう支援している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、佐野市北部郊外の幹線道路から奥まった田園地帯の中にある住宅地に位置し、落ち着いた静かな環境にある。運営主体の関連事業所が県内・外にあり、会議や研修会を通して情報・意見交換を行い連携を図っている。「個人個人を尊重し、オーダーメイドの介護」を基本理念とし、暖かい介護を目指している。管理者・職員は明るく家庭的な雰囲気のもと、利用者に寄り添い、一人ひとりがその人らしく生活できるよう支援している。食事は3食とも手づくりで、和・洋・中華などバラエティーに富み利用者の楽しみにもなっている。毎月家族に便りを出すなど、家族とのつながりや思いも大切にしている。職員間の仲の良い雰囲気もあり、利用者は終日居間でくつろぎ、何気ない会話を交わし楽しんでいる。運営推進会議には地域の方の参加もあり、開設10年を迎え顔なじみの関係もできている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印                              | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) |    |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |  |
|--------------------|-----|---|---|---|--|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 基本理念である「個人個人を尊重し、オーダーメイドの介護」を事務所に掲示し、理念の実践に努めている。                   | 会社の基本理念を事務室に掲示し、ミーティング時や普段の支援の中で振り返るとともに、できるだけ一人ひとりの要望や期待に添えるよう寄り添い支援している。  |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 地域の自治会に加入し、運営推進会議に出席して頂き、協力や理解を得ている。また、納涼祭、避難訓練に参加して頂いている。          | 自治会に加入するとともに、地区の文化祭に利用者の俳画を出品したり、事業所納涼祭に地域の方の参加があるなど、地域との交流を大切にしている。近隣の方から野菜の差し入れや、マッサージ器・冷蔵庫等の寄贈もある。職員家族のソーラン節や、利用者家族のマンドリン演奏の交流もあり、利用者の楽しみになっている。 |  |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 運営推進会議時、認知症の人の理解や支援方法を報告している。                                       |   |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 運営推進会議時、地域の方や家族などからの要望や質問等を頂き、意見交換を実施している。取組内容については、職員と話合っている。      | 運営推進会議は、利用者・家族・市職員・住民代表・民生委員の参加を得て、2か月に1回定期的に開催している。利用状況、活動状況、事故報告の他、意見交換を行っている。家族からは感想や質問、住民代表からはイベントの情報もあり、サービスの向上に活かしている。                        | 地域との交流を深め、より幅広い意見を運営に活かすため、感染症、AED講習等、年間のテーマを決めるとともに、議題に応じて消防関係者や駐在所などの参加が得られるような働きかけを期待したい。 |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 運営推進会議時に利用状況や活動報告等の実情を伝えている。意見や地域の情報について、意見を頂いている。                  | 運営推進会議には市職員と地域包括支援センター職員が隔年交代で参加しており、事業所の現状や活動状況を報告している。市まで出向き、家族からの相談事や、介護保険に関する相談をしている。   |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束のマニュアルや資料を参考にし、様々な状況で拘束しないケアの方法等職員間でも話し合いを行い身体拘束のないケアの実践に努めている。 | 身体拘束排除のための理念・方針を整備するとともに、外部研修や内部の勉強会で身体拘束をしないケアについて学び、実践に繋げている。歩行困難な車椅子利用者が立ち上がる危険性があり、見守りとセンサーマットを敷いて身体拘束をしない工夫もしている。                              |  |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 勉強会などを通じて虐待について理解し、日々の生活の中で表情の観察や身体の状況を把握し虐待防止に努めている。               |   |  |

グループホームあおぞら

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 勉強会を通じて話し合いを行い、必要に応じて活用ができるよう支援している。                    |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 利用契約時に重要事項を説明しながら利用者や家族等に不安がないよう理解して頂けるよう努めている。         |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 玄関にご意見箱を設置している。また面会時には意見や要望を持ち掛けて運営に反映させている。            | 利用者に対しては、普段の会話や支援の中で丁寧に要望を聞くよう心がけている。家族には、毎月利用者の状況を書面で伝えるとともに、面会時や運動会などの行事参加時に意見や要望を聞くよう努めている。              |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ミーティングや話し合いの場を通して、職員から意見や提案を聞く機会を持ち、業務の見直しなど運営に反映させている。 | 管理者は、職員と話しやすい関係づくりに努め、毎月のミーティングや話し合いの場を通して意見や提案を聞いている。利用者の食事形態や、入浴時間・回数検討、安全を考慮したセンサー使用の提案などがあり、運営に反映させている。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 五施設合同の会議を実施し、意見が出やすい環境を作り、職場環境の整備に努めている。                |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 内外研修に参加してもらいケアの向上に努めている。施設内勉強会を通じてケアの向上に努めている。          |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内にある同法人の施設の納涼祭へ参加したり、利用者、職員との交流を図っている。                 |   |                   |

グループホームあおぞら

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に本人と直接面会し要望や不安などに耳を傾け安心して入居できるよう努めている。                          |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居前に家族と面会し、家族が不安に思っていることや、困っていることを聞き、家族の意向が反映されるよう努めている。           |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 本人や家族、ケアマネージャーからも情報を貰いながら、本人や家族が望むサービスをいくつか提供し、選択できるように支援している。     |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 家族の一員としての関係性を築き入居者様の出来る事を見極め、洗濯物たたみや食器拭きなどを一緒に行っている。               |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 毎月入居者様の生活状況報告を送付したり、面会時にはホームでの様子を伝えて、情報の共有に努めている。                  |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 家族に限らず、友人や近所の方等が気軽に立ち寄り交流を図れるよう努めている。                              | 利用者が大切にしてきた友人の訪問の際には、居室や居間でお茶を飲んでくつろいでもらうよう配慮している。時には電話をかける支援も行っている。美容室や神社に行きたいという希望に対応したり、家族の協力で墓参りに行くこともある。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 日頃の暮らしの中から、利用者個々の生活スタイルを尊重し利用者同士の関係性を把握し性格や相性にも気を配り、座席の配置にも配慮している。 |   |                   |

グループホームあおぞら

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 利用解約後も、気軽に立ち寄って下さいと伝えている。   |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 本人と会話する中で希望を聞きその人らしい生活ができるよう努めている。困難な時には家族からの協力を頂いている。                | 普段の会話から、利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。俳画や編み物をしたい、体操を休みたい、甘いものが食べたい等の希望がある。困難な場合は家族から情報を得たり、しぐさや態度から察して本人本位に検討し支援している。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 利用者、家族から生活歴などの情報を頂いて自分らしい生活が送れるよう支援している。                              |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 一日の生活状況や、心身状態を観察し経過記録を利用し情報を把握し職員間で伝達している。                            |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人や家族の意向を確認し、職員の気づきやアイデアを取り入れながら介護計画を作成している。                          | 利用者がより良い暮らしが出来るよう、利用者・家族から要望を聞き、医師に相談しながら、2カ月に1回の会議において職員間で話し合っている。ケアマネジャーは利用者の状況の把握に努め、現状に即した介護計画の作成に努めている。    |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 経過記録、申し送りを通じて、体調の変化や、職員のケアの統一、情報の共有をしている。                             |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 入居者の要望を聞き、家族と相談しながら買い物や受診の対応を行っている。また家族の意向を受け入れ、急な時でも対応が出来るよう取り組んでいる。 |   |                   |

グループホームあおぞら

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |   |
|----|------|---|--|---|---|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域のボランティアや出張の福祉理容業者と関わる事により楽しみのある暮らしが出来るよう支援している。            |   |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 以前から馴染みのあるかかりつけ医との関係を大切にして、施設での様子を密に報告している。                  | かかりつけ医の受診は家族が同行し、事業所での様子を記したメモを渡している。毎月かかりつけ医の往診がある利用者もいる。インフルエンザの予防接種は協力医が行い、歯科等の他科受診は職員が同行することもある。            |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 体調の変化があった時、必ず看護師に報告し状況に応じて受診支援も行っている。                        |   |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時、管理者が面会に行き、状態や看護師との情報交換に努め、退院後のケアに活かせるよう努めている。            |   |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 看取りを希望される入居者様には同意を取り、看取りマニュアルを基に、主治医や家族、職員間での連携を図りながら支援している。 | 重度化した場合や終末期のあり方については、状態が変化した時に話し合いを行っている。看取りの指針があり、同意をとり、医師や家族、職員との連携のもと看取った経験もある。職員は、内部研修で看取りの勉強会を行い、研鑽を積んでいる。 |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 利用者の急変や事故に備えて、マニュアルを掲示している。AED導入済。                           |   |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 消防訓練、避難訓練、夜間対応の避難訓練・通報訓練を実施している。                             | 年2回消防署立会いのもと、昼夜を想定し、消火・避難・通報訓練を実施している。防火設備会社の参加もある。地域の方への参加呼びかけや、事業所独自の訓練、水や食料の備蓄など検討中である。                      | 事業所独自の避難訓練の実施や、災害時に地域住民による見守りなどの協力が得られるような働きかけ、さらには水・食料等の備蓄の取り組みを期待したい。 |

グループホームあおぞら

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 運営理念にも掲げている、個人個人を尊重し自分自身が利用者の立場に立った言動や言葉遣いで対応している。排泄の声掛けには配慮を心掛けている。                | 常に目上の方として接するよう心がけるとともに、一人ひとりの人格を尊重し、排泄や入浴時も羞恥心に配慮した見守りや声かけを行っている。呼びかけは「さん」を基本としているが、希望により変えることもある。                            |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人が思いや希望を伝えられるような雰囲気作りをしたり、体調や表情などから気持ちを理解するよう働きかけている。利用者の意思を尊重し、一人ひとりの性格などを理解している。 |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 運営理念にも掲げている、その人らしい生活が送れるように生活パターンを把握し、希望通りに一日が過ごせるように支援している。                        |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 出張の福祉理容を取り入れ、ヘアカットを入居者様の希望で行っている。   |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 多くの入居者様の好きな刺身や麺類は、メニューに取り入れている。下膳など出来ることは進んで一緒にしている。                                | 食事はパンや麺類など利用者の希望も取り入れ、3食職員の手づくりである。メニューや食材の買い物も職員が行っている。利用者は自分のペースで食し、後片付けや食器拭きなどを行っている。寿司パーティーを実施する等、食事が楽しみなものになるような工夫もしている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 経過記録に摂取量と水分量を記入し一日のバランスを把握している。   |   |                   |
| 42                               |      | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                                | 毎食後声掛けにて、口腔ケアを実施している。   |   |                   |

グループホームあおぞら

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 経過記録に排泄チェックし、個々の排泄のパターンを把握し、声掛けでの誘導や見守り、介助を入居者様一人ひとりに合った支援を行っている。               | 排泄の記録表から一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、しぐさや言動から察し、早めの声掛け誘導をしている。日中はトイレでの排泄を支援している。入院時おむつを使っていた利用者が、トイレでの自立排泄に改善した事もある。                   |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 水分を多めに補給したり食物繊維のある物を食べて頂き、ラジオ体操で体を動かして便秘の予防に努めている。                              |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 基本的に入浴は午前中に実施しているが、その日の体調や希望を聞いて、出来る限り希望に沿った入浴ができるように支援している。                    | 午前中に週2~3回、職員の見守りや介助により入浴している。お風呂の好きな利用者が多く、希望に添えるよう時間や職員の配置などを工夫している。立位困難な利用者には職員2人で支援したり、希望により入浴剤やゆず湯を楽しんでもらう等、個々に沿った対応に努めている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | リビングソファでゆっくりしたり、居室で一人になる時間を尊重している。  |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬の飲み忘れや誤薬を防ぐ為に、職員が責任を持って最後まで内服確認し、チェック表に記入している。薬の説明が記入してあるファイルがあり、職員で情報を共有している。 |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 食後の食器拭き、洗濯物を畳む等一人ひとり出来る事をやっている。編み物をしたり、俳画を描くなど趣味を続けられるよう支援している。                 |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | その日の天候や体調をみながら、近隣への散歩に出掛けている。また毎月レクの担当職員を決め入居者様の要望を取り入れ外出する等取り組んでいる。            | 利用者の体調や天候をみながら、近くの神社まで往復20分くらい散歩をしたり、敷地内を散策している。年間の行事を計画し、初詣、花見、紅葉狩りなど全員で車で外出する事もある。家族と外出をしたり、職員と一緒にスーパーマーケットに行くこともある。          |                   |

グループホームあおぞら

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | ご家族より小口現金をお預かりし、外出時に買う楽しみを作っている。                            |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 職員が電話番号をまわし家族と話せるように支援している。                                 |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節の花を飾ったり入居者様が描いた俳画を展示している。                                 | 玄関や居間などに利用者の書いた俳画や、全員で作った作品、季節感のあるツリーなどを飾っている。温度・湿度の管理のほか換気、掃除、テレビの音量などにも配慮している。利用者が居心地よく過ごせるよう椅子やテーブルの配置、席順を工夫している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共有空間のリビングにソファ、畳があり、思い思いに過ごされている。                            |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居時に使い慣れた物や愛着のある物を持ってきて頂いている。写真を飾るなど、自分の家の様に過ごせるよう支援している。   | 洗面台・エアコン・カーテンが備え付けの洋室で、布団・タンス・洋服がけ・テレビ・冷蔵庫など使い慣れた物を持ち込むことができる。家族の写真や作品を飾ったり、暖簾をかけたりと、居心地良く過ごせるよう支援している。              |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 廊下やトイレ、お風呂場には、手すりが設置され、安全に配慮されている。入居者様一人ひとりに合った福祉用具を利用している。 |  |                   |